

周公大タイムズ

周南公立大学生の文化・スポーツ活動のいまを伝える News Letter

スポーツ健康科学科2年生 UNIVAS受賞の快挙！

ハンドボール部の古林陽向さんとスポーツクライミング部の石津元崇さんが、一般社団法人大学スポーツ協会（UNIVAS）の『UNIVAS AWARDS2024-25』で「ルーキー・オブ・ザ・イヤー」の栄冠を獲得しました。古林さんは優秀賞も受賞。この賞は、「学業及び競技成績や運動部活動への貢献を残して文武両道を実践する他の学生の模範となる1年生（新入学生）を表彰する」もので、お二人それぞれのスポーツと学業における努力と成果が高く評価されました。

古林陽向（こばやしひなた）さん

スポーツ健康科学科2年生。ハンドボール部主将。高校時代、岡山県代表として国体に出場し準優勝。全国大会でも活躍しました。周南公立大学に入学したが、当時はハンドボール部がなく創部を決意。持ち前の情熱と行動力でメンバー集めから練習場の確保まで奔走し、仲間たちと協力しながら10月に創部を実現しました。現在は、インカレを目指して練習に励む一方、周南市の中学校、地域クラブ、高等学校、社会人チームとハンドボールの普及・育成・強化における連携を進め、競技力の向上を目指して精力的に活動しています。部活の地域移行を支援する「しゅうなん・スポーツコミュニティ・プロジェクト」にも参画し、主要なメンバーの一人として積極的に取り組んでいます。



古林さんの喜びの声：ルーキーオブザイヤーを受賞できてとても嬉しいです
周りの支えのおかげでこの賞を受賞することができたと思っています。
これからも挑戦を続け、競技力アップはもちろん、地域貢献にも力を入れて応援されるチームにしていきたいです。

石津元崇（いしづもとたか）さん

スポーツ健康科学科2年生。スポーツクライミング部所属。小学校3年生からクライミングを始め、山口県西京高卒業後、周南公立大学に入学。2024年9月9日～12日、スロベニア・コペルで開催された「FISU World University Sport Climbing Championship」において銀メダル（世界2位）、同年12月14、15日に摂南大学で開催された「2024日本学生個人選手権大会」において、決勝唯一の完登で優勝を果たしました。。2025年も活躍が期待されています。競技力向上だけでなく、大学在学中にコーチング資格を取得し、将来的には指導者として生徒や選手をサポートすることを計画しており、スポーツ健康科学科で科学と実践を融合した学びを志しています。



石津さんの喜びの声：このような賞を頂けたこと大変嬉しく思っております。大会や練習が多くある中で、文武両道を実践できたのは、日頃から応援して下さい下さっている方々のお陰です。
今後もオリンピック出場を目標に勉学と両立しながら向き合っていきます。どうか応援よろしくお願いします。

UNIVASとは…一般社団法人大学スポーツ協会。「この法人は、大学スポーツを総合的に振興し、学生の誰もが学業を充実させながら安全に競技スポーツを実践するための基盤的環境を整備するとともに、地域に根差す大学スポーツの多様な価値を高め、我が国の力強い発展と卓越性を追求する人材の輩出に寄与することを目的とする。」（「定款」より抜粋）

周南公立大学のクラブ・サークル活動一覧

厳しい受験を乗り越えて始まった大学生活。充実した4年間で過ごすためには、勉強はもちろんですが、クラブ・サークル活動も重要なポイント。周南公立大学には、たくさんのクラブ・サークルがあります。

1年生のみなさん、あなたが興味のあるクラブ・サークルはどれ？

【文化系】

吹奏楽団
軽音楽部
三道文化会（茶道部）
知財倶楽部

【文化系同好会・サークル】

がくまち
ゲーム同好会
ピクなん
ゼブラクラブ（起業部）
映像研究会
SPC
簿記研究会
マリオカートサークル
ボードゲームサークル
麻雀サークル
DCC 松村遼
よさこいサークル笑酔
ディベート部
笑く咲くプレイス
教育研究会
遊戯王サークル
株サークル
競技かるたサークル

【体育会系】

剣道
硬式野球
サッカー（男子）
サッカー（女子）
柔道（男子）
柔道（女子）
バスケットボール（男子）
バスケットボール（女子）
陸上競技
レスリング
バドミントン
ラグビー
アーチェリー
空手道
ゴルフ
フットサル
バレーボール(男子)
バレーボール（女子）
ボクシング
軟式野球
ソフトテニス
卓球
スポーツクライミング
ハンドボール

【体育系同好会・サークル】

テニスサークル
スポーツサークル
バドミントンサークル
自転車サークル
あくてい部
Mizusakids（モルック）
ダンスサークル
バレーボールサークル
水泳部
バスケサークル
ボルダリングサークル
硬式テニスサークル
探検部
ゴルフサークル
ドッジボールサークル
ピククルボールサークル
サッカーサークル
地域貢献バスケットボールサークル

【学生団体】

学生会執行部
学生福利厚生委員会
体育会
文化会
大学祭実行委員会

【特別団体】

留学生会
地域貢献推進委員会



周南公立大学のクラブ・サークルを紹介するパンフレット「クラブ・サークルを極める本2」が発行され、新入生のみなさんに配布されています。

「クラブ・サークルを極める本2」には、活動時間や場所、連絡先のほか、詳しい活動内容、クラブ・サークルの推しポイントなど、詳しい情報が盛りだくさんです。

ぜひ、ご活用ください！

これからの試合予定

「みんなで応援に行こう！」

【レスリング部】

4/26.27

- ・JOC杯全日本ジュニア選手権(横浜市) 5/10、11
- ・学生春季リーグ戦(大阪堺市)

【硬式野球部】

・中国地区大学野球連盟（1部リーグ）春季リーグ戦
開幕戦：4/5（土）、4/6（日） マスカットスタジアム
（vs 吉備国際大学）

2節目：4/12（土）、4/13（日） 鶴岡一人記念球場
（vs 至誠館大学）

3節目：5/3（土）、5/4（日） オーヴィジョンスタジアム下関（vs 東亜大学）

4節目：5/10（土）、5/11（日） 津田恒美メモリアルスタジアム（vs 広島文化学園大学）

最終戦：5/17（土）、5/18（日） マスカットスタジアム（vs 環太平洋大学）

【女子サッカー部】

- ・中国女子サッカーリーグ

第1節：4/6（日） 周南公立大学（vs広島大学）

第2節：4/20（日） 広島経済大学（vs広島経済大学）

第3節：4/26（土） 周南公立大学（vsスフィード）

第4節：5/4（日） 周南公立大学（vsレノファ山口）

第5節：5/11（日） 吉備国際大学（vs吉備国際大学）

第6節：5/24（土） 広島文教大学（vs広島文教大学）

【男子サッカー部】

- ・天皇杯山口県サッカー選手権大会

1回戦：4/13（日） おのサンサッカーパーク（vs野上杯優勝チーム）

- ・中国大学サッカーリーグ

第1節：4/26（土） 周南公立大学（vs福山大学）

第2節：4/29（火） 調整中（vs広島経済大学）

第3節：5/4（日） 環太平洋大学（vs環太平洋大学）

第4節：5/11（日） 周南公立大学（vs岡山理科大学）

第5節：5/18（日） 広島文化学園大学（vs広島文化学園大学）

第6節：5/25（日） 周南公立大学（vs広島大学）

【柔道部】

・全日本ジュニア体重別選手権大会山口県予選（於 周南公立大学柔道場）5/11（日）

- ・中国四国学生柔道優勝大会（於 岡山県武道館）5/17（土）～5/18（日）

【男子バレーボール部】

・中国大学リーグ戦春季大会（於 ゼオンアリーナ周南市）4/26（土）、27（日）

【女子バレーボール部】

- ・中国大学リーグ戦春季大会（於 広島国際大学）4/20（日）

・中国大学リーグ戦春季大会（於 ゼオンアリーナ周南市）4/26（土）、27（日）

創刊ご挨拶

周南公立大学生の文化・スポーツ活動のいまを伝えるNewsLetter「周公大タイムズ」の創刊号を発行することができました。ご支援くださった皆さまに感謝いたします。

周南公立大学は昨年4月、3学部5学科からなる新しい公立大学としての歩みを始めました。3年前には徳山大学が公立化して周南公立大学になっています。このように、本学はいま大きな変革期にあります。大学が大きく変わるときには、学内のコミュニケーションを盛んにし、大学の構成員だけでなく、学生さんたちを支えてくださっている保護者や地域のみなさま、パートナー企業のみなさまと共に「ユニバーシティ・アイデンティティ」を醸成することが大切です。そのためには、文化活動やスポーツ活動における学生さんたちの活躍を伝えることが最もインパクトのある情報になると考えました。

「周公大タイムズ」は月1回の発行を目指し、参画してくれる学生さんと教職員有志がチカラを合わせて編集・発行します。既に、7人の学生さんが手を上げてくれて編集部を立ち上げました。この後も、一緒に取り組んでくれる学生さんを募集しています。

私たちは「感動大学・周南公立大学」を目指して、「周公大タイムズ」を発行します！

硬式野球部の試合結果

鹿児島県で開催されていた「薩摩おいどんリーグ」に本学硬式野球部が参戦。楽しみにしていた立教大学と慶應義塾大学との対戦は雨のため中止となりましたが、他の4試合は予定通り行われました。結果は2勝2敗でしたが、春のリーグ戦での活躍が期待できる成果を上げました。「神宮に行くぞ！」

鹿児島ドリームウェーブ 1-6 ●
名古屋商科大学 4-5 ●
流通科学大学 15-4 ○
九州国際大学 11-7 ○

スポーツの言葉 (1)

イチロー「小さいことを積み重ねる事が、とんでもないところへ行くただひとつの道だと思っています。」(https://seminars.jp/media/522より)
イチローは、日本とアメリカで活躍したプロ野球選手です。日米通算で、計4367本の安打を打ちました。2025年1月、日本人として初めてアメリカの野球殿堂入りが決定しました。まさに、超人的な努力の結果、「とんでもないところ」へ行き着いたと言えます。
イチローはこうも言っています。「努力せずに何かできるようになる人のことを『天才』というのなら、僕はそうじゃない。努力した結果、何かができるようになる人のことを『天才』というのなら、僕はそうだと思う。」
自分も努力してみる価値はあるな、と思えてくるのは私だけだろうか。

スポーツの風景 (1) 運動塚



キャンパスの南の端、8号館とアーチェリー場のさらに奥にひっそりと鎮座する運動具塚。『徳山大学10年史』によれば、昭和「49年10月9日、グラウンドの一角に運動具塚が建立され、使い古した運動用具に感謝するとともに課外活動が安全かつますます発展することを祈念して、運動具塚祭が開催された。以後は三年おきに開催され」ていたそうである。
昨年春、大きなけがをする学生さんが続き、大会でもあと一步で栄冠を逃すという不運が続いた。人知れず、お酒と水と栄養ドリンク供えてくださった方がいる。
運動具塚はいまも、キャンパスの端にあって、学生さんたちを見守ってくれている。

「周公大タイムズ」創刊号
編集発行：周公大タイムズ編集部【清原泰治（代表）】
kiyohara@shunan-u.ac.jp
発行日：2025年4月1日